

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業の概要

| | | | | | |
|-----------|--|-------|-----------|------|-----|
| 事業名 | 一般国道354号古河境バイパス | 事業区分 | 補助国道 | 事業主体 | 茨城県 |
| 起終点 | 自：茨城県古河市高野 至：茨城県境町猿山 | 延長 | 3.2km | | |
| 事業概要 | <p>一般国道354号は、県南部を横断する広域的な幹線道路であり、地域の発展を支えるとともに、災害時には第1次緊急輸送道路としての役割を担う大変重要な路線である。</p> <p>当該バイパスは、新4号国道と圏央道境古河ICを結ぶことにより円滑な交通が確保され、物流の効率化や企業立地の促進が期待されている道路である。</p> | | | | |
| 事業の目的、必要性 | <p>当該地域は、新4号国道及び圏央道の沿線であることから、首都圏とのアクセス性が高く、工場立地が活発な本県の中でも、特に立地が多い状況である。また、当該地域への大型物流施設の立地も進んでいるとともに、境古河IC周辺において産業用地の開発が進められていることから、今後も多くの交通需要が見込まれる。企業立地の促進や地域の経済活動を支えるため、新4号国道の6車線化に合わせ、新4号国道と東西方向を結ぶ幹線道路ネットワークの強化、境古河ICへのアクセス性の向上を図る道路として必要である。</p> | | | | |
| 全体事業費 | 70億円 | 計画交通量 | 13,500台/日 | | |
| 事業概要図 | | | | | |

事業評価結果

| | | | | | | | | | |
|---------|---|------------------------------|-------------------------|--|--|-------|-----|--------|--|
| 費用対便益 | B/C | 3.4 | 総費用 | 53億円 | 総便益 | 180億円 | 基準年 | 平成29年度 | |
| | | | 事業費 | 51億円 | 走行時間短縮便益：175億円 走行費用減少便益：2.0億円 交通事故減少便益：3.0億円 | | | | |
| | | | 維持管理費 | 2.3億円 | | | | | |
| 感度分析の結果 | 交通量変動 | | B/C=2.7~5.2 (交通量 ±10%) | | | | | | |
| | 事業費変動 | | B/C=3.1~3.7 (事業費 ±10%) | | | | | | |
| | 事業期間変動 | | B/C=3.2~3.6 (事業期間 ±20%) | | | | | | |
| 事業の影響 | 評価項目 | 評価 | 根拠 | | | | | | |
| | 自動車や歩行者への影響 | 渋滞対策 | ◎ | 通過交通の転換により混雑が緩和 【交通渋滞の緩和】 ・渋滞損失時間が10.9万人時間/年減少 ・主要渋滞箇所（塚崎交差点）の渋滞緩和 ・並行現道の混雑（混雑率1.65）緩和 | | | | | |
| | | 事故対策 | ○ | ・市街地に流入していた交通が転換され、交通の安全や良好な生活環境が確保 ・並行現道の事故率 386.5件/億台キロ | | | | | |
| | | 歩行空間 | — | ・注目すべき影響はない | | | | | |
| | 社会全体への影響 | 住民生活 | ○ | ・第三次救急医療施設「茨城西南医療センター病院」へのアクセス向上 | | | | | |
| | | 地域経済 | ○ | ・境古河IC周辺の産業用地開発への支援 | | | | | |
| | | 災害 | ○ | ・第1次緊急輸送道路の機能強化 | | | | | |
| 環境 | | — | ・注目すべき影響はない | | | | | | |
| 地域社会 | ○ | ・古河市～境町間の交流・連携の促進への寄与が期待される。 | | | | | | | |
| 事業実施環境 | 都市計画決定手続きが完了（H7.3） 国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟や国道354号整備促進協議会等より早期整備を要望されている。 | | | | | | | | |

採択の理由

当該バイパスの整備より、新4号国道と圏央道のアクセス強化による、物流の効率化、交通の分散による渋滞の緩和、第三次救急医療施設への救急搬送時間の短縮が見込まれる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

関係する地方公共団体等の意見

国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟や国道354号整備促進協議会等より早期整備を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

—

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
手続きの完了：都市計画決定の告示が完了（H7.3）